

食の安全安心のための施策一覧

《取組みの視点による分類》

1 最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実

(1) 食品関連事業者に対する監視・指導

- ① 生産段階における監視・指導
- ② 流通実態の把握と指導
- ③ 製造所、飲食店、販売店などの監視・指導
- ④ 食品の検査の充実
- ⑤ 適正表示の徹底

(2) 集団給食施設などに対する助言・指導

- (3) 健康被害発生時の対応
- (4) 情報の収集、整理、分析及び提供
- (5) 検査能力の向上、研究の推進
- (6) 専門的な職員の養成及び資質の向上

2 食品関連事業者の食の安全安心に関する自主的な取組みの向上

(1) 情報の提供

- (2) 人材の養成及び資質の向上
- (3) 自主的衛生管理の推進への支援
- (4) 関連業界団体への支援
- (5) 食の安全安心に対する自主的な取組みの評価と広報
- (6) 地域の特性を活かす支援

3 食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築

- (1) 消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援
- (2) 消費者が意見を表明できる場の提供
- (3) 苦情や相談などに対する迅速で適切な対応
- (4) 地域コミュニティとの協働

4 関係者の連携強化

- (1) 関係部局の連携強化（庁内）
- (2) 関係機関との連携強化

食の安全安心に関する主な事業一覧

0	分類0	1	分類2	2	分類3	主管局	担当課	事業の名称	事業の説明	H25年度の実績				H26年度の予定				
										新規・継続	実績概要	予算額(千円)	備考	新規・継続・廃止	実施予定の概要	予算額(千円)	備考	
1	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		市民局	消費生活センター	出前講座	消費者の要望に応じて地域に向き講座を開催する。	継続	食品関連開催回数:7回 (テーマ:ジュースの中の砂糖の量はどのくらい?)6回:111名 (テーマ:ビタミンCをかしこく摂っていますか?)1回:15名			継続	消費者の申込みにより開催。(テーマ:ジュースの中の砂糖の量はどのくらい?・ビタミンCをかしこく摂っていますか?)			
2	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		市民局	消費生活センター	消費者力アップ通信講座	消費生活に関する正しい知識を身につけ、主体的・合理的に行動できる消費者を目指すために通信講座を実施する。	継続	参加者数:35名 食に関する6単元16ページ			廃止				
3	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		市民局	消費生活センター	かしこい消費生活講座	消費生活に関する正しい知識を学べる、消費生活に関するさまざまな分野の専門家による講座を開催する。	継続	食品関連開催回数:0回			継続	かしこい商品選択に関する講座の予定あり			
4	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		市民局	消費生活センター	企業共催講座	消費生活に関する正しい知識を楽しく学べる親子講座等を企業と共催で開催する。	継続	食品関連開催回数:0回			廃止	かしこい消費生活講座と統合			
5	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	3	苦情や相談などに対する迅速で適切な対応		市民局	消費生活センター	消費者相談	消費者からの相談、苦情に対して助言、情報提供、斡旋(相談者に代わって事業者と交渉)を行う。	継続	食品関連相談件数:1,099件			継続	随時			
6	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		農林水産局	農業振興課	農産物の安全・安心推進事業	市民に信頼される安全で安心な農産物の生産及び供給に資するため、生産者に対し、農業使用基準の遵守、防除履歴の記載の徹底及び、GAPの推進を図る。	継続	GAPの推進 市民への啓発・PR 出荷前残留農薬検査 (野菜67検体、米15検体) 連絡会議1回、担当者会議1回			継続	GAPの推進 市民への啓発・PR 出荷前残留農薬検査 (野菜70検体、米15検体) 連絡会議1回、担当者会議1回			
7	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		農林水産局	農業振興課	食と農の体験教室 (農畜産物消費拡大推進事業)	市内産野菜を食材とした市民対象の料理教室と併せ、産地や直売所の見学、生産者との交流会等により、市内産農畜産物及び農業に対する消費者の理解促進を図るとともに、親子を対象とした収穫体験等を通して食育を推進する。	継続	産地見学と併せた料理教室4回 親子みそづくり教室1回 親子料理教室3回 レシピ作成5,000部	970		継続	産地見学と併せた料理教室4回 親子料理教室3回 親子と生産者との交流会1回 レシピ作成5,000部	970		
8	4	関係者の連携強化	1	関係部局の連携強化(庁内)		農林水産局	農業振興課	福岡市牛海綿状脳症対策連絡会議	牛海綿状脳症(BSE)対策として、家畜の飼育から加工、消費にわたる総合的な対策を推進するため、関係部局で情報交換や協議を行う。	継続	連絡会議:0回			継続	連絡会議:随時			
9	4	関係者の連携強化	1	関係部局の連携強化(庁内)		農林水産局	農業振興課	福岡市高病原性鳥インフルエンザ対策連絡会議	高病原性鳥インフルエンザの発生に備え、防疫対策や食品の安全対策などが適切に行えるよう情報交換や対策の検討を行う。	継続	連絡会議:1回 担当者会議:0回			継続	連絡会議:1回 担当者会議:0回			
10	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		農林水産局	水産振興課	玄海うまかもん食育事業	市内小中学生の親子を対象とした「親子でチャレンジ!お魚クッキング」や、中学校の家庭科授業の一環とした「中学校お魚料理教室」を開催し、魚介類の栄養と健康に関する講習や調理実習を行う。	継続	・親子 4回 ・中学生 22回	1,333		継続	・親子 1回 ・中学生 20回	1,013		
11	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		農林水産局	市場課	中央卸売市場料理教室	魚、肉、野菜の生鮮3品の普及促進、食育及び市場の紹介を行う。	継続	年3回実施 参加者 延べ75人	240		継続	年3回実施予定 参加者 延べ90人	240		
12	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		農林水産局	市場課	福岡市農林水産まつり	農林水産物の展示即売やパネル展示による農林水産業、市場流通の紹介及び食育に関するイベントを行う。	継続	11月10日実施 入場者数 約25,000人	5,529		継続	実施日:11月8日 入場者数 約25,000人	5,216		
13	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		農林水産局	市場課	長浜鮮魚市場 市民感謝デー・魚料理教室	市場の一部開放、仲卸売場での鮮魚販売等により、魚食の普及促進、食育及び市場の紹介を行う。	継続	(感謝デー)来場者:延べ118千人(料理教室)参加者:延べ770人	15,722		継続	(感謝デー)来場者:延べ120千人(料理教室)参加者:延べ1,000人	16,250		
14	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	1	食品関連事業者に対する監視・指導	4	食品の検査の充実	環境局	保健科学課	検査の充実	検査の充実	継続	農薬:372項目 動物用医薬品等:98項目	28,451	食品衛生費の総額	継続	農薬:372項目 動物用医薬品等:98項目	27,328	食品衛生費の総額
15	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	4	情報の収集、整理、分析及び提供		環境局	保健科学課	ホームページによる食品の安全性に関する情報提供	ホームページによる食品の安全性に関する情報提供	継続	食品衛生情報の追加 ニュースレター掲載 夏休み子ども体験学習会の内容を掲載			継続	食品衛生情報の追加 ニュースレター掲載 夏休み子ども体験学習会の内容を掲載			
16	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	5	検査能力の向上、研究の推進		環境局	保健科学課	検査技術等の向上	検査技術等の向上	継続	研修や学会参加による検査技術・知識等の向上	1,633		継続	研修や学会参加による検査技術・知識等の向上	1,309		

0	分類0	1	分類2	2	分類3	主管局	担当課	事業の名称	事業の説明	H25年度の実績				H26年度の予定			
										新規・継続	実績概要	予算額 (千円)	備考	新規・継続 ・廃止	実施予定の概要	予算額 (千円)	備考
17	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	5	検査能力の向上, 研究の推進			環境局	保健科学課	検査結果に対する信頼性確保	検査結果に対する信頼性確保	継続	内部精度管理:11回 外部精度管理:11回	本庁負担	委託料	継続	内部精度管理:11回 外部精度管理:11回	本庁負担	委託料
18	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	5	検査能力の向上, 研究の推進			環境局	保健科学課	研究の推進	研究の推進	継続	食中毒菌汚染実態調査, マーケットバスケット方式による残留農薬等・食品添加物の摂取量調査	29,451	食品衛生費の総額	継続	食中毒菌汚染実態調査, マーケットバスケット方式による残留農薬等・食品添加物の摂取量調査	21,328	食品衛生費の総額
19	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援			環境局	保健科学課	夏休み子ども体験学習会	夏休み子ども体験学習会	継続	微生物:1回, 理化学:1回 参加者:16名			継続	微生物:1回, 理化学:1回 参加者:18名		
20	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	2	集団給食施設などに対する助言・指導			教育委員会	健康教育課	衛生検査	給食施設への立入検査	継続	単独校調理場145校へ年3回実施, 衛生状態の確認及び改善指導を行う	—		継続	平成25年度と同様	—	
21	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	4	情報の収集, 整理, 分析及び提供			教育委員会	健康教育課	ホームページでの学校給食情報の提供	ホームページで献立表, 食材の産地, 検査結果等の情報を提供する	継続	定期的に情報を追加・更新	—		継続	平成25年度と同様	—	
22	食品関連事業者の食の安全安心に関する自主的な取り組みの向上	2	人材の養成及び資質の向上			教育委員会	健康教育課	調理業務員等研修会	衛生管理の研修	継続	調理業務員への給食室における衛生管理の研修を実施	1,252		継続	平成25年度と同様	1,177	
23	食品関連事業者の食の安全安心に関する自主的な取り組みの向上	2	人材の養成及び資質の向上			教育委員会	健康教育課	新規採用学校栄養教諭研修	新規採用者への衛生管理の研修	継続	新規採用学校栄養教諭にマニュアルに基づいた研修を実施	—		継続	平成25年度と同様	—	
24	食品関連事業者の食の安全安心に関する自主的な取り組みの向上	1	情報の提供			保健福祉局	健康増進課	福岡市特定給食施設研修会	給食施設の栄養士・調理師を対象に知識や技術の向上を図る研修会を実施	継続	H25.5.17「食中毒予防について」(参加者:218名) H25.9.26「秋からの食中毒予防」(参加者:161名)	273		継続	H26.6.23「食中毒について」 H26.9.26「食中毒について」	288	
25	食品関連事業者の食の安全安心に関する自主的な取り組みの向上	5	食の安全安心に対する自主的な取り組みの評価と広報			保健福祉局	健康増進課	福岡市栄養成分表示の店事業	「福岡市栄養成分表示の店」の普及啓発	継続	登録数 457店舗 (平成26年3月現在)	100		継続	栄養成分表示の店登録マップの作成	100	
26	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	1	食品関連事業者に対する監視・指導	3	製造所, 飲食店, 販売店などの監視・指導	保健福祉局	食品衛生検査所	監視・指導	鮮魚市場・青果市場内の監視・指導	継続	監視施設数:286 延監視件数(実働):35,751 違反件数:33 食用不適魚発見件数:7	60,119	青果魚介類の検査経費総額	継続	H25年度と同様	60,659	青果魚介類の検査経費総額
27	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	1	食品関連事業者に対する監視・指導	4	食品の検査の充実	保健福祉局	食品衛生検査所	食品の検査	市場内流通食品の検査	継続	検査検体数:995 延検査項目数:71,754 法違反:2 指導基準不適合件数:1	60,119	青果魚介類の検査経費総額	継続	H25年度と同様	60,659	青果魚介類の検査経費総額
28	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	5	検査能力の向上, 研究の推進			保健福祉局	食品衛生検査所	検査の充実	残留農薬等のポジティブリスト制に伴い, 公定法に定められた一斉分析法を導入し, より効果的な検査を実施する。	継続	検査可能項目: 残留農薬200 動物用医薬品33	60,119	青果魚介類の検査経費総額	継続	検査可能項目: 残留農薬207	60,659	青果魚介類の検査経費総額
29	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	5	検査能力の向上, 研究の推進			保健福祉局	食品衛生検査所	検査技術等の向上	研修等により, 最新の検査技術を修得し, 検査技術の向上を図る。	継続	LC/MS/MS, GC/MS/MSおよびLC/MS操作トレーニング等: 17回, 述べ参加人数60名	60,119	青果魚介類の検査経費総額	継続	H25年度と同様	60,659	青果魚介類の検査経費総額
30	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	5	検査能力の向上, 研究の推進			保健福祉局	食品衛生検査所	検査能力の向上	技術研修会, 学会等への参加	継続	日本食品衛生学会, 貝毒研修会, 残留農薬等研修会, 前処理研修会等: 6回, 延べ参加人数9名	60,119	青果魚介類の検査経費総額	継続	H25年度と同様	60,659	青果魚介類の検査経費総額
31	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	5	検査能力の向上, 研究の推進			保健福祉局	食品衛生検査所	検査結果に対する信頼性確保	福岡市の食品衛生検査施設における検査等の業務管理要領に基づく精度管理	継続	試験法の妥当性評価:動物用医薬品および残留農薬外部精度管理への参加:細菌3項目, 残留農薬3項目および麻痺性貝毒指定した試験品による精度管理:細菌4項目, 食品添加物2項目および残留農薬6項目	60,119	青果魚介類の検査経費総額	継続	H25年度と同様	60,659	青果魚介類の検査経費総額
32	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	5	検査能力の向上, 研究の推進			保健福祉局	食品衛生検査所	研究の推進	実態調査及び検査方法に関する技術開発	継続	動物用医薬品の検査項目の拡充:15項目追加 残留農薬の検査項目の拡充:8項目追加 H25年度に新規導入したリアルタイムPCRによるクドアの検査体制整備	60,119	青果魚介類の検査経費総額	継続	動物用医薬品, 残留農薬の検査項目の拡充の検討	60,659	青果魚介類の検査経費総額
33	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	6	専門的な職員の養成及び資質の向上			保健福祉局	食品衛生検査所	知識・技術の向上	研修等により, 食品の衛生・安全確保を担う職員の知識・技能の向上を図る。	継続	沖縄県卸売市場等の視察:2回, 延べ参加人数2名 研修会等への参加:18回, 延べ参加人数58名	60,119	青果魚介類の検査経費総額	継続	H25年度と同様	60,659	青果魚介類の検査経費総額

0	分類0	1	分類2	2	分類3	主管局	担当課	事業の名称	事業の説明	H25年度の実績				H26年度の予定			
										新規・継続	実績概要	予算額 (千円)	備考	新規・継続・廃止	実施予定の概要	予算額 (千円)	備考
34	2	食品関連事業者の食の安全安心に関する自主的な取り組みの向上	1	情報の提供		保健福祉局	食品衛生検査所	食品関連事業者への衛生講習会等の実施	衛生講習会等の実施により、食品関連事業者の衛生思想を向上し、自主管理による食の安全確保を図る。	継続	講習会の実施:10回、参加人数180名 食品衛生の相談:42件	60,119	青果魚介類の検査経費総額	継続	H25年度と同様	60,659	青果魚介類の検査経費総額
35	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		保健福祉局	食品衛生検査所	消費者等への情報提供	消費者等への情報提供により、消費者の食に対する「安全・安心」の確保を図る。	継続	施設見学会:24回、参加人数591名 食品衛生月間行事:1回、参加人数26名	60,119	青果魚介類の検査経費総額	継続	H25年度と同様	60,659	青果魚介類の検査経費総額
36	4	関係者の連携強化	2	関係機関との連携強化		保健福祉局	食品衛生検査所	他自治体等との情報交換	他自治体の食品衛生行政、食品検査に関する会議出席等による情報交換	継続	全国市場食品衛生検査所協議会全国大会参加、全国市場食品衛生検査所協議会九州ブロック会議参加	60,119	青果魚介類の検査経費総額	継続	H25年度と同様	60,659	青果魚介類の検査経費総額
37	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	1	食品関連事業者に対する監視・指導	1	生産段階における監視・指導	保健福祉局	食肉衛生検査所	検査データのフィードバック事業	継続	111件	※(73,721)	と畜検査経費の総額	継続	120件	※(73,931)	と畜検査経費の総額
38	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	1	食品関連事業者に対する監視・指導	4	食品の検査の充実	保健福祉局	食肉衛生検査所	と畜検査	継続	福岡市中央卸売市場食肉市場に搬入される牛・豚等のと畜検査(とさつ禁止命令措置を含む。)	※(73,721)	と畜検査経費の総額	継続	牛:23,500頭 豚:133,000頭	※(73,931)	と畜検査経費の総額
39	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	1	食品関連事業者に対する監視・指導	4	食品の検査の充実	保健福祉局	食肉衛生検査所	牛・めん羊・山羊のTSE検査	継続	福岡市中央卸売市場食肉市場にてとさつ・解体される牛・めん羊・山羊のTSE(伝達性海綿状脳症)検査	13,016		継続	牛:7,050頭 ※48ヶ月齢超の牛について検査を実施	5,845	
40	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	1	食品関連事業者に対する監視・指導	4	食品の検査の充実	保健福祉局	食肉衛生検査所	残留有害物検査	継続	市場外へ流通前の食肉の動物用医薬品・農薬等の検査	※(73,721)	と畜検査経費の総額	継続	抗生物質検査(牛豚):約700頭 モニタリング検査(牛豚)50頭	※(73,931)	と畜検査経費の総額
41	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	4	情報の収集、整理、分析及び提供		保健福祉局	食肉衛生検査所	市民や関係者への情報提供	食肉衛生検査所だよりの発行	継続	年4回	※(73,721)	と畜検査経費の総額	継続	年4回	※(73,931)	と畜検査経費の総額
42	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	5	検査能力の向上、研究の推進		保健福祉局	食肉衛生検査所	検査の充実	残留農薬のポジティブリスト制に伴い、公定法に定められた一斉分析法を導入し、効果的な検査を実施する。	継続	高度分析機(LC/MS/MS)を用いた残留農薬等の検査について検査項目拡大(58項目へ)	※(73,721)	と畜検査経費の総額	継続	高度分析機(LC/MS/MS)を用いた残留農薬等の検査について検査項目拡大の検討	※(73,931)	と畜検査経費の総額
43	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	5	検査能力の向上、研究の推進		保健福祉局	食肉衛生検査所	検査技術等の向上	研修等により、最新の検査技術を習得することにより検査技術の向上を図る。	継続	全国食肉衛生協議会各支部(病理、理化学、微生物)参加 計4回 全国食肉衛生技術研修会 1回	※(73,721)	と畜検査経費の総額	継続	全国食肉衛生協議会各支部(病理、理化学、微生物)参加 計4回 全国食肉衛生技術研修会 1回	※(73,931)	と畜検査経費の総額
44	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	5	検査能力の向上、研究の推進		保健福祉局	食肉衛生検査所	検査能力の向上	技術研修会、学会等への参加	継続	全国食肉衛生協議会各支部(病理、理化学、微生物)参加 計4回 全国食肉衛生技術研修会 1回	※(73,721)	と畜検査経費の総額	継続	全国食肉衛生協議会各支部(病理、理化学、微生物)参加 計4回 全国食肉衛生技術研修会 1回	※(73,931)	と畜検査経費の総額
45	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	5	検査能力の向上、研究の推進		保健福祉局	食肉衛生検査所	検査結果に対する信頼性確保	福岡市の食品衛生検査施設における検査等の業務管理要領に基づく精度管理	継続	相互点検2回、指定品による精度管理(細菌および動物用医薬品)、外部精度管理(細菌および動物用医薬品)	※(73,721)	と畜検査経費の総額	継続	相互点検2回、指定品による精度管理(細菌および動物用医薬品)、外部精度管理(細菌および動物用医薬品)	※(73,931)	と畜検査経費の総額
46	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	5	検査能力の向上、研究の推進		保健福祉局	食肉衛生検査所	研究の推進	実態調査及び検査方法に関する技術研究	継続	残留動物用医薬品の簡易スクリーニング検査項目の追加	※(73,721)	と畜検査経費の総額	継続	敗血症診断へのPCR法の活用 残留動物用医薬品の簡易スクリーニング検査項目の追加	※(73,931)	と畜検査経費の総額
47	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	6	専門的な職員の養成及び資質の向上		保健福祉局	食肉衛生検査所	知識・技術の向上	研修等により、食品の衛生・安全確保を担う職員の知識・技能の向上を図る	継続	福岡県家畜保健衛生所との合同研修会 1回 病理研修 8回	※(73,721)	と畜検査経費の総額	継続	福岡県家畜保健衛生所との合同研修会 1回 病理研修 8回程度	※(73,931)	と畜検査経費の総額
48	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		保健福祉局	食肉衛生検査所	市民啓発事業	見学者等への事業説明	継続	見学者:13団体(96名)	※(73,721)	と畜検査経費の総額	継続	随時	※(73,931)	と畜検査経費の総額
49	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	1	食品関連事業者に対する監視・指導	3	製造所、飲食店、販売店などの監視・指導	保健福祉局	食品安全推進課	営業施設に対する立入検査	継続	食品取扱施設に立ち入り、施設の衛生状態や販売される食品の表示の確認や事業者に対する指導やアドバイスを行なう(各区衛生課)	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度と同様	87,322	施設監視等の経費総額

0	分類0	1	分類2	2	分類3	主管局	担当課	事業の名称	事業の説明	H25年度の実績				H26年度の予定			
										新規・継続	実績概要	予算額 (千円)	備考	新規・継続 ・廃止	実施予定の概要	予算額 (千円)	備考
50	1 最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	1 食品関連事業者に対する監視・指導	4 食品の検査の充実			保健福祉局	食品安全推進課	収去検査	市内の製造所や販売店で食品を抜き取り、細菌、食品添加物、残留農薬等の検査を行い、食品の安全性を確認する(抜き取りは、各区衛生課で、検査は保健環境研究所等で実施)	継続	理化学検査:2,255件、細菌検査:1,404件を実施し、18件(理化学:12、細菌:6)の違反を発見(食品衛生検査所、食肉衛生検査所を含む)夏場には、路上弁当を収去し、温度管理や表示等の確認も行った。	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度と同様	87,322	施設監視等の経費総額
51	1 最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	2 集団給食施設などに対する助言・指導				保健福祉局	食品安全推進課	集団給食施設(学校給食)などに対する立入検査	学校、保育所、社会福祉施設などの集団給食施設に立入り、衛生状態の確認や食中毒の予防のアドバイスを行う(各区衛生課)	継続	対象施設796件に対し、延べ663回立入調査を実施	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度と同様	87,322	施設監視等の経費総額
52	1 最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	3 健康被害発生時の対応				保健福祉局	食品安全推進課	食中毒などの健康被害発生時の調査	食中毒や違反食品などによる健康被害発生のおそれのあるとき、患者調査、施設調査を行い、被害拡大防止、原因究明に努めている(各区衛生課、他都市のほか関連機関との連絡調整:食品安全推進課)	継続	食中毒事件が13件(患者数:173名)発生し、9件について営業停止命令の行政処分を実施	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度と同様	87,322	施設監視等の経費総額
53	1 最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	4 情報の収集、整理、分析及び提供				保健福祉局	食品安全推進課	ホームページによる食品の安全性に関する情報提供	本市ホームページによる食品の安全性に関する情報の提供	継続	トピックスや記者投げ込み資料を適宜掲載違反食品等の情報を四半期毎に掲載	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度と同様	87,322	施設監視等の経費総額
54	1 最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	6 専門的な職員の養成及び資質の向上				保健福祉局	食品安全推進課	食品衛生監視員研修	食品衛生監視員の資質の向上を目指し、新任研修、中級研修、ふぐの鑑別講習、検疫所視察研修などを開催	継続	5回、83人出席 ※平成25年度は、食中毒調査の机上演習を実施	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度と同様	87,322	施設監視等の経費総額
55	1 最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	6 専門的な職員の養成及び資質の向上				保健福祉局	食品安全推進課		国や他自治体等が実施している食品衛生監視員向けの技術研修会へ職員を派遣	継続	地方公共団体職員向け学習会(1名) 九州地区食品衛生監視員協議会研修会(24人) 全国食品衛生監視員研修会(4人) 国立保健医療科学院研修(1人) 食肉食鳥肉衛生技術研修会(3人) 食中毒の初級疫学研修(5人) 食品安全行政講習会(2人) 食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会(1人)	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度と同様	87,322	施設監視等の経費総額
56	1 最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	6 専門的な職員の養成及び資質の向上				保健福祉局	食品安全推進課	HACCPに係る助言等を行う食品衛生監視員の養成講習会	HACCP手法の習得を図る講習会への職員の派遣	継続	回数:2回 参加者:6人	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度と同様	87,322	施設監視等の経費総額
57	1 最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	6 専門的な職員の養成及び資質の向上				保健福祉局	食品安全推進課	食品衛生研究発表会	食品衛生に関する調査研究や事例報告の発表会 優秀事例は、九州地区の研究発表会へ派遣	継続	回数:1回 参加者:35人	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度と同様	87,322	施設監視等の経費総額
58	2 食品関連事業者の食の安全安心に関する自主的な取り組みの向上	1 情報の提供				保健福祉局	食品安全推進課	食品衛生講習会	食品等事業者を対象に、食品衛生に関する最新情報を提供するための衛生講習会の実施	継続	回数:308回 受講者:15,997人 (集団給食は含まない)	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度と同様	87,322	施設監視等の経費総額
59	2 食品関連事業者の食の安全安心に関する自主的な取り組みの向上	1 情報の提供				保健福祉局	食品安全推進課	新規開業者のための食品衛生講習会	新規に開業した事業者に対し、コンプライアンス意識の徹底をめざし、関係機関と連携した講習会を実施	継続	回数:5回 受講者:261人	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度と同様	87,322	施設監視等の経費総額
60	2 食品関連事業者の食の安全安心に関する自主的な取り組みの向上	2 人材の養成及び資質の向上				保健福祉局	食品安全推進課	食品衛生責任者養成講習会	食品衛生責任者を養成する講習会の開催 ※食品衛生協会を指定機関とし、実施。	継続	回数:12回 受講者:2,668人	-		継続	平成25年度と同様	-	
61	2 食品関連事業者の食の安全安心に関する自主的な取り組みの向上	4 関連業界団体への支援				保健福祉局	食品安全推進課	辛子めんたいこ業界と協働した表示等の徹底	辛子めんたいこ業界の自主的な取り組みを技術的側面から支援するもの。 表示の手引きの作成、講習会の開催、マダラの卵の偽装混入抑制のためのDNA検査、検定試験など	継続	DNA検査(1回、9件) 検定試験を実施し、辛子めんたいこ表示衛生管理士に56名認定	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度と同様	87,322	施設監視等の経費総額
62	2 食品関連事業者の食の安全安心に関する自主的な取り組みの向上	4 関連業界団体への支援				保健福祉局	食品安全推進課	公益社団法人福岡市食品衛生協会への支援	市内の食品関係事業者が、食品衛生の向上、自主管理体制の確立などを目指して組織された団体である食品衛生協会が実施する食品衛生指導員による巡回指導や衛生講習会等の事業に対し、技術的支援を行っている。	継続	食品衛生指導員の技術研修会への講師派遣 食品衛生講習会への講師派遣	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度と同様	87,322	施設監視等の経費総額
63	2 食品関連事業者の食の安全安心に関する自主的な取り組みの向上	5 食の安全安心に対する自主的な取り組みの評価と広報				保健福祉局	食品安全推進課	優良な食品関連事業者の表彰	食品衛生思想の普及向上を図るため、優良な食品関係事業者・施設に対し表彰を行っている。(食品衛生大会で表彰式を実施)	継続	福岡市長表彰 食品衛生功労者 10名 食品衛生優良施設 15施設 福岡市保健所長表彰 食品衛生優良移設 129施設	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度と同様	87,322	施設監視等の経費総額
64	2 食品関連事業者の食の安全安心に関する自主的な取り組みの向上	6 地域の特性を活かす支援				保健福祉局	食品安全推進課	大規模イベントへの対応	大規模イベント時の宿泊施設、飲食店、弁当調製施設等の監視	継続	金鷲旗・玉竜旗柔剣道大会など	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度と同様	87,322	施設監視等の経費総額

0	分類0	1	分類2	2	分類3	主管局	担当課	事業の名称	事業の説明	H25年度の実績				H26年度の予定			
										新規・継続	実績概要	予算額 (千円)	備考	新規・継続 ・廃止	実施予定の概要	予算額 (千円)	備考
65	2	食品関連事業者の食の安全安心に関する自主的な取り組みの向上	6	地域の特性を活かす支援		保健福祉局	食品安全推進課	屋台に対する立入検査	屋台の衛生状態の向上を図る立入検査や関係各課合同の講習会開催	継続	施設数:144件に対し、延べ547回立入調査を実施 屋台設置者への関係各課合同の立入及び講習会開催	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度と同様	87,322	施設監視等の経費総額
66	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		保健福祉局	食品安全推進課	暮らし上手のヒントの発行・配布	生活衛生に関する検査結果や行政の取組を解説した情報誌の発行・配布 リビング福岡へ掲載、WEBでの掲載、冊子の配布	継続	A5版 20,000部発行	13,638	市民への情報提供の経費総額	継続	平成25年度と同様	13,511	市民への情報提供の経費総額
67	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		保健福祉局	食品安全推進課	市民を対象とした講習会	市民を対象とした「くらしのステップアップセミナー」や出前講座等の開催	継続	回数:153回 参加者:5,395人	13,638	市民への情報提供の経費総額	継続	平成25年度と同様	13,511	市民への情報提供の経費総額
68	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		保健福祉局	食品安全推進課	食品衛生月間事業	食品衛生月間(8月)に各区等で主催する消費者参加型の各種事業の実施	継続	公益社団法人福岡市食品衛生協会と共催でパン作り、工場見学、市場見学等を実施	13,638	市民への情報提供の経費総額	継続	平成25年度と同様	13,511	市民への情報提供の経費総額
69	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	2	消費者が意見を表明できる場の提供		保健福祉局	食品安全推進課	パブリック・コメントの募集	食品衛生監視指導計画など、市民意見募集を実施し、意見を反映	継続	・平成25年度食品衛生監視指導計画案	13,638	市民への情報提供の経費総額	継続	平成25年度と同様	13,511	市民への情報提供の経費総額
70	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	2	消費者が意見を表明できる場の提供		保健福祉局	食品安全推進課	福岡市食の安全安心推進協議会	消費者、食品関連事業者等により、「基本方針」に基づき実施する事業の事前協議、結果の検証等を行う協議会の開催	継続	会議回数:2回	447	食の安全安心推進協議会開催等経費	継続	平成25年度と同様	381	食の安全安心推進協議会開催等経費
71	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	3	苦情や相談などに対する迅速で適切な対応		保健福祉局	食品安全推進課	苦情処理	食品に関する苦情や相談等の受付と調査、情報提供	継続	苦情届出件数:483件	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度と同様	87,322	施設監視等の経費総額
72	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	4	地域コミュニティとの協働		保健福祉局	食品安全推進課	バザー開設者に対する衛生講習	地域でのバザーや模擬店等で提供される食品の衛生確保のための講習会の開催や保健所での乳幼児健診などを利用した食中毒予防の講習会の開催	継続	回数:73回 参加人数:2,813人	13,638	市民への情報提供の経費総額	継続	平成25年度と同様	13,511	市民への情報提供の経費総額
73	4	関係者の連携強化	1	関係部局の連携強化(庁内)		保健福祉局	食品安全推進課	食の安全確保に関する連絡会議	庁内における食の安全に関する5局13課の情報交換等を行う会議	継続	開催回数:1回	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度と同様	87,322	施設監視等の経費総額
74	4	関係者の連携強化	2	関係機関との連携強化		保健福祉局	食品安全推進課	他自治体等との情報交換	国の機関や他自治体と連携した違反食品等の調査や情報交換	継続	随時実施	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度と同様	87,322	施設監視等の経費総額
75	4	関係者の連携強化	2	関係機関との連携強化		保健福祉局	食品安全推進課	国及び他自治体との連絡会議等	国の機関や他自治体の食品衛生部門との情報共有などを目的とした各種の連絡会議に参画	継続	・福岡県食品表示監視協議会 ・福岡県食品表示関係機関担当者連絡会議 ・九州各県・政令市・中核市生活衛生主管課長会議 ・全国食品衛生主管課長連絡協議会 ・21大都市食品衛生主管課長会議 ・九州地区食品衛生担当係長及び担当者会議 ・九州地区輸入食品衛生担当者連絡会議 ・全国食品安全連絡会議	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度と同様	87,322	施設監視等の経費総額
76	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		東区	衛生課	食のリスクコミュニケーション	事業者と区民を結ぶ参加型勉強会の開催	継続	2回(2施設)実施 16名、24名参加	13,638	市民への情報提供の経費総額	継続	平成25年度同様	13,511	市民への情報提供の経費総額
77	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	1	食品関連事業者に対する監視・指導	③	製造所、飲食店、販売店などの監視・指導	博多区	衛生課	重点監視	大規模調理を行っているハイリスク施設に対し、3人1組で時間をかけて立ち入り検査を実施し、改善の確認まで行う	継続	8施設	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度同様	87,322	施設監視等の経費総額
78	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	1	食品関連事業者に対する監視・指導	③	製造所、飲食店、販売店などの監視・指導	博多区	衛生課	ミニ重点監視	収去検査により発見された不良食品の製造施設を効率的に指導し改善の確認まで行う	継続	11施設	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度同様	87,322	施設監視等の経費総額
79	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	1	食品関連事業者に対する監視・指導	③	製造所、飲食店、販売店などの監視・指導	博多区	衛生課	HACCP導入プロジェクト	HACCPの導入を目指し、地元企業とディスカッションを通して事業者の自主管理体制の整備を図る	継続	市内1施設	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度同様	87,322	施設監視等の経費総額
80	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	6	専門的な職員の養成及び資質の向上		博多区	衛生課	監視員研修	重点監視の実施と並行し、監視員のレベルアップを図るため、優良施設の視察を行う	継続	市外2施設 市内4施設	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度同様	87,322	施設監視等の経費総額

0	分類0	1	分類2	2	分類3	主管局	担当課	事業の名称	事業の説明	H25年度の実績				H26年度の予定				
										新規・継続	実績概要	予算額 (千円)	備考	新規・継続 ・廃止	実施予定の概要	予算額 (千円)	備考	
81	2	食品関連事業者の食の安全安心に関する自主的な取り組みの向上	3	自主的衛生管理の推進への支援		博多区	衛生課	事業者間のネットワーク推進事業	事業者間で食品衛生に関する情報交換の場を提供	継続	2回実施(スーパー、ホテル菓子部門の2業種で実施)	90,860	施設監視等の経費総額	継続	スーパーは継続、ホテルは部門を変更予定	87,322	施設監視等の経費総額	
82	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		博多区	衛生課	食の安全安心探検隊	食に関するリスクコミュニケーション事業として、消費者と食品の試食検査や意見交換会を実施	継続	4回(53名)実施	13,638	市民への情報提供の経費総額	継続	3回実施予定	13,511	市民への情報提供の経費総額	
83	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		博多区	衛生課	食育スクール(食育リーダー研修)	健康課と共催で、博多の郷土料理や食中毒予防などについて学び地域で食育を推進するリーダーを育成する研修を実施	継続	2回(29名)実施	184	所管は健康課	継続	3回実施予定	184	所管は健康課	
84	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		博多区	衛生課	会社員のための健康情報定期便	健康課と連携し、会社員を対象とした健康や食中毒についての情報定期便を発行	継続	4回実施	481	会社員のための健康情報定期便の経費総額	継続	平成25年度同様	481	会社員のための健康情報定期便の経費総額	
85	4	関係者の連携強化	2	関係機関との連携強化		博多区	衛生課	中洲三庁合同立入	警察、消防、保健所が合同で中洲地区の雑居ビルへの立ち入り検査を実施	継続	1回実施	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度同様	90,860	施設監視等の経費総額	
86	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	4	情報の収集、整理、分析及び提供		中央区	衛生課	食の安全・安心推進事業	食品衛生月間における街頭キャンペーンで食肉の生食による食中毒予防啓発を行う	継続	パンフレット配布:5,300部	1,051	食の安全・安心推進事業経費総額	継続	パンフレットを改定する配布は平成25年度同様	1,033	食と美容の安全・安心プロモーション事業	
87	2	食品関連事業者の食の安全安心に関する自主的な取り組みの向上	1	情報の提供		中央区	衛生課	食の安全・安心推進事業	バザー、イベント主催者へ食中毒予防の指導、情報提供を行う	継続	イベント開催件数(開催者事前指導):約130回 バザー届出件数(窓口指導):82件	1,051	食の安全・安心推進事業経費総額	継続	平成25年度同様	1,033	食と美容の安全・安心プロモーション事業	
88	2	食品関連事業者の食の安全安心に関する自主的な取り組みの向上	1	情報の提供		中央区	衛生課	食の安全・安心推進事業	手洗い実習を交えたわかりやすい衛生講習会を行う	継続	手洗い実習を交えた衛生講習会実施回数:9回, 556名	1,051	食の安全・安心推進事業経費総額	継続	平成25年度同様	1,033	食と美容の安全・安心プロモーション事業	
89	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		中央区	衛生課	食の安全・安心推進事業	子どもを持つ保護者や若年層に対し食肉の生食による食中毒予防啓発を行う	継続	消費者対象講習会 実施回数:18回, 447名 パンフレット配布:約5,700部 専門学校へのパンフレット配布 パンフレット配布:約2,900部	1,051	食の安全・安心推進事業経費総額	継続	平成25年度同様	1,033	食と美容の安全・安心プロモーション事業	
90	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		中央区	衛生課	食の安全・安心推進事業「食のちよい勉強会」	市民と事業者共同参加の体験型講習を通して、食品衛生に関する知識を習得する。(東区と合同事業)	新規	・2回シリーズ ・18人参加	13,638	市民への情報提供の経費総額	継続	平成26年10月 2回実施	13,511	市民への情報提供の経費総額	
91	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		南区	衛生課	南区ため蔵食ゼミ	公募した区民を対象に体験型の講座を実施し、市民自らが食に関する情報を読み解く力を育成する。	継続	・20名(第3期)対象 ・5回シリーズで開催 ①②食の基礎講座、参加者ワークショップ③食品工場見学とスーパーでの試食④食品検査と検査機関の見学⑤まとめと意見交換会 ・H23～25(第1～3期)の講座参加者を対象としたフォロー会(同窓会)を行い、専門家を招いて講習会と意見交換を実施した。	262	南区食の安全・安心推進事業総額	継続	・第4期生を公募(20名)し、体験型講座(4回シリーズ)および選択制講座(3～4回)を開催 ・継続的な情報提供と地域のネットワークづくりのため第1～3期生と共に集い意見を交わしあえるサイエンスカフェを開催 ・今年度は、新たに下記内容を追加 ①JA、農地、市場(青果、鮮魚、食肉)の見学 ②まもる一む(体験学習施設)での実験	329	南区食の安全・安心推進事業総額	
92	3	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		南区	衛生課	いきいきシニア応援事業(食に着眼したアクティブエイジング事業)	高齢化が進む中で、心身ともに健康で、社会との繋がりが持って活躍する高齢者が増えることが重要になっている現在、元気な高齢者が健康で生きがいを持ち生き生きと暮らせるよう、食を通じてサポートする。	新規	・高齢者(シニア)が望むレシピを、アンケート調査により把握した。 ・アンケート結果に基づき、高齢者(シニア)が求める手軽でおいしい3種のレシピについて、南区内の大学に依頼、公募した。 ・レシピコンクールを開催して、実際に調理した作品を、高齢者や栄養学の専門家等により実食審査した。	306	所管は健康課	継続	・見やすくわかりやすいレシピ集の作成・配布 ・シニアが集い食事をしながらコミュニケーションできる、ランチミーティングの開催 ・シニアを対象とした食や健康に関する講演会、意見交換会を開催し、賢い消費者を育成する。 ・事業者とのネットワークづくりをサポート(食品事業者とコラボしたレシピの商品化検討等)。	306	所管は健康課	
93		食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築		消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援		南区	衛生課	区版市政だより及び市民課TVモニターを活用した情報提供	区版市政だより及び市民課TVモニターを活用して、食に関する情報提供を行う。	継続	・区版市政だよりにより食中毒予防や食に関する記事を年5回掲載した。 ・市民課に設置しているTVモニターによる食中毒予防啓発。(通年)	13,638	市民への情報提供の経費総額	継続	平成25年度同様	13,511	市民への情報提供の経費総額	
94	1	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	1	食品関連事業者に対する監視・指導	③	製造所、飲食店、販売店などの監視・指導	南区	衛生課	重点監視	食に関するリスクの高い大規模施設に対し、事業者とともに、製造工程毎に点検し、また細菌検査を取り入れ、科学的根拠に基づく指導を実施する。	継続	2施設のべ5回実施	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度同様	87,322	施設監視等の経費総額

0	分類0	1	分類2	2	分類3	主管局	担当課	事業の名称	事業の説明	H25年度の実績				H26年度の予定			
										新規・継続	実績概要	予算額 (千円)	備考	新規・継続 ・廃止	実施予定の概要	予算額 (千円)	備考
95	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	1	食品関連事業者に対する監視・指導	③	製造所, 飲食店, 販売店などの監視・指導	南区	衛生課	独自監視票による重点監視	食中毒等食に関する危害を未然に防止する目的で, 業種別の監視票を作成し, それにより施設毎のリスク把握に努め, 効果的な指導を実施する。	継続	約1000施設	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度同様	87,322	施設監視等の経費総額
96	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	1	食品関連事業者に対する監視・指導	③	製造所, 飲食店, 販売店などの監視・指導	南区	衛生課	食品表示講習会	食品表示は消費者の商品選択の目安となる重要な情報である。食品表示は食品衛生法のみならず, JAS法など様々な法令が関係するため, 事業者が正しい表示を作成することをサポートする目的で, 農政事務所と共働し, 実習を含めた表示講習会を実施する。	継続	菓子製造業者のべ約65名を対象に実施	90,860	施設監視等の経費総額	継続	平成25年度同様	87,322	施設監視等の経費総額
97	最新の科学的知見に基づいた食品の安全性の確保および危機管理の充実	4	情報の収集, 整理, 分析及び提供			城南区	衛生課	食中毒・感染症予防キャンペーン	「手洗いすきすき/食中毒予防」(両面)チラシの作成・配付	新規	発行部数:10,000部	1,269	食中毒・感染症予防キャンペーンの経費総額	継続	25年度同様	1,195	食中毒・感染症予防キャンペーンの経費総額
98	食品関連事業者の食の安全安心に関する自主的な取組みの向上	1	情報の提供			城南区	衛生課	社会福祉施設等への助言・指導	スタッフを対象とした現地講習会の開催	継続	10施設実施, 307名参加	1,269	食中毒・感染症予防キャンペーンの経費総額	継続	25年度同様	1,195	食中毒・感染症予防キャンペーンの経費総額
99	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援			城南区	衛生課	食中毒・感染症予防キャンペーン	保育園・幼稚園, 小学校低学年児童向けの手洗い教室開催等	継続	・園児, 児童向け手洗い教室 9回実施 1487名参加 ・小学校の手洗い教室 14回実施 435名参加	1,269	食中毒・感染症予防キャンペーンの経費総額	継続	手洗い教室20回程度開催 チラシ配布による啓発等	1,195	食中毒・感染症予防キャンペーンの経費総額
100	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援			城南区	衛生課	食とくらしのリスクコミュニケーション	区民参加による「体験型勉強会」「食とくらしの安全教室」開催	継続	「わくわく体験! 食の安全と食品検査★」2回シリーズ 48名参加 (チラシ発行部数2000枚) 「食とくらしの安全教室」41回実施, 1197名参加	475	食のリスクコミュニケーションの経費総額	継続	「体験型勉強会」開催(発行部数チラシ2000枚) 「食とくらしの安全教室」20回程度開催予定	441	食のリスクコミュニケーションの経費総額
101	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援			早良区	衛生課	食の安全・安心推進事業	区民を対象とした食の安全・安心に関する勉強会の開催			13,638	市民への情報提供の経費総額	新規	専門家を招いて, 区民, 専門家, 行政で食の安全・安心に関する意見交換会を実施する	13,511	市民への情報提供の経費総額
102	食品関連事業者及び行政への消費者の信頼構築	1	消費者が「食品の安全性」に関する知識と理解を深めることの支援			西区	衛生課	食の安全安心スクール	事業者や行政の食の安全に関する取り組みを消費者に知ってもらうことで, お互いの信頼関係を創る足がかりとし, 食の安心へとつなげる	継続	・3回シリーズ ・福岡市立福岡女子高校 食物調理科の生徒40人参加	196	食の安全安心スクールの経費総額	継続	・福岡女子高食物調理科2年生対象 3回シリーズ ・同校, 他の学科の生徒対象 出前講座2回程度	194	食の安全安心スクールの経費総額